

補助事業計画書②【経費明細表・資金調達方法】

名 称：株式会社プラスミュージック

Ⅱ. 経費明細表【必須記入】

(単位：円)

経費区分	内容・必要理由	経費内訳 (単価×回数)	補助対象経費 (税込)
①機械装置等費	京都校防音室 ・他店舗と同条件にし、効率的にレンタル事業を推進するため。	防音室及び躯体回収内装工事786,650×1式 電設空調工事540,000×1式 共通工事×250,000×1式	1,734,315
①機械装置等費	京都校ピアノ ・京都校において設置した防音室にて使用。スマートスタジオや音楽教室事業と連携するため。	300,000×1台	330,000
①機械装置等費	電子入退出管理システム設置及び、設置のための扉工事費用	電子入退出管理システム25,000×3 扉改修工事70,000×3式	313,500
③ウェブサイト関連費	予約サイト構築 ・自動予約システムの導入による人件コスト	サイト構築50,000×4	220,000
③ウェブサイト関連費	広告宣伝費 ・Google広告による宣伝	50,000/月×10カ月	550,000
(1) 補助対象経費小計 (ウェブサイト関連費を除く)			(a) 2,377,815
(2) 補助金交付申請額 (ウェブサイト関連費を除く) (1)×補助率 3/4(※)以内(円未満切捨て)			(b) 1,783,360
(3) ウェブサイト関連費に係る補助対象経費小計			(c) 770,000
(4) ウェブサイト関連費に係る交付申請額 (6)の1/4を上限(最大50万円)、(c)×補助率 3/4(※)以内(円未満切捨て)			(d) 216,640
(5) 補助対象経費合計 (a) + (c)			(e) 3,147,815
(6) 補助金交付申請額合計 (b) + (d)			(f) 2,000,000
(d) が (f) の1/4以内であるか (「いいえ」の場合は申請できません)			はい

※経費区分には、「①機械装置等費」から「⑩委託・外注費」までの各費目を記入してください。

※経費の内訳に関しては、内容がわかるように記載してください。

※補助対象経費の消費税(税抜・税込)区分については、別紙「参考資料」の「11. 消費税等仕入控除税額」を参照のこと。

※

(2)、(4)の補助率について、賃上げ枠で申請する者のうち赤字事業者については補助率が3/4となります(以下、「賃金引上げ枠」及び「赤字事業者」にチェック☑を入れてください)。

※「(4) ウェブサイト関連費に係る交付申請額」については、「(6) 補助金交付申請額合計」の1/4以内となるように記入してください。

記載にあたっては、「様式3_経費明細表作成ツール」をご活用いただけます。

※補助事業の実績によりウェブサイト関連費における補助金額が減額となる場合があります。

※(6)の上限額は以下の希望する枠ごとに異なります(希望する枠いずれかにチェック☑を入れてください)。

希望する枠いずれかにチェック☑を入れてください【必須記入】

※「赤字事業者」については「賃金引上げ枠」にもチェックを入れてください。

特別枠に申請する場合は、希望する枠にチェック	上限額	概要
通常枠 ☐	50万円	—
賃金引上げ枠 ☒		補助事業の終了時点において、事業場内最低賃金が申請時の地域別最低賃金より+30円以上であること。すでに事業場内最低賃金が地域別最低賃金より+30円以上を達成している場合は、現在支給している、事業場内最低賃金より+30円以上とする必要はありません。
赤字事業者 ☒		賃金引上げ枠に申請する事業者のうち、直近1期または直近1年間の課税所得金額がゼロ以下である事業者。補助率については3/4へと引上げられます。

卒業枠	☐	200万円	補助事業の終了時点において、常時使用する従業員の数が小規模事業者として定義する従業員数を超えていること。
後継者支援枠	☐		申請時において、「アトツギ甲子園」のファイナリストおよび準ファイナリストになった事業者であること。
創業枠	☐		産業競争力強化法に基づく「認定市区町村」または「認定市区町村」と連携した「認定連携創業支援等事業者」が実施した「特定創業支援等事業」による支援を公募締切時から起算して過去3か年の間に受け、かつ、過去3か年の間に開業した事業者であること。

特例を希望する場合は、チェック☑を入れてください【任意記入】

希望する特例にチェック		上限額 上乗せ額	追加要件等
インボイス特例	☐	50万円	2021年9月30日から2023年9月30日の属する課税期間で一度でも免税事業者であった又は免税事業者であることが見込まれる事業者のうち、適格請求書発行事業者の登録が確認できた事業者であること。

Ⅲ. 資金調達方法【必須記入】

＜補助対象経費の調達一覧＞

区分	金額（円）	資金 調達先
1. 自己資金	1,147,815	
2. 持続化補助金 （※1）	2,000,000	
3. 金融機関からの 借入金	0	
4. その他	0	
5. 合計額 （※2）	3,147,815	

＜「2. 補助金」相当額の手当方法＞（※3）

区分	金額（円）	資金 調達先
2-1. 自己資金	1,000,000	
2-2. 金融機関からの 借入金	1,000,000	政策金融公庫 によるつなぎ 資金
2-3. その他	0	

※1 補助金額は、Ⅱ. 経費明細表（6）補助金交付申請額と一致させること。

※2 合計額は、Ⅱ. 経費明細表（5）補助対象経費合計と一致させること。

※3 補助事業が終了してからの精算となりますので、その間の資金の調達方法について、ご記入ください。

（各項目について記載内容が多い場合は、適宜、行数・ページ数を追加できます。）